

政策 02 保健・福祉・医療に関する政策

施策 05 障がい者（児）福祉の充実

あるべき姿

障がい者（児）が地域で安心して自立した生活を過ごせています。

施策の成果状況と評価

指標	在宅でサービスを利用している障がい者の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対 基準値
		【障がい福祉課】	87.1	90.6	91.5	90.0
評価	<p>（状況）在宅で福祉サービスを利用している障がい者の割合は、基準値(87.1%)と比較して、4.4ポイント向上し、前年度と比較しても0.9ポイント向上しました。</p> <p>（要因）福祉サービスの利用登録者の伸びに対する、入所等自宅外での福祉サービス利用者が微減となったことが挙げられます。</p>					対 前年度 ☀ (向上)
						目標 達成度 🏰 (達成)

基本事業03 障がい者（児）の社会参加

指標	障がい者の就労者数（累計）（就労支援センター登録者のうち）（人） 【障がい福祉課】	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
				140	260	273
評価	<p>（状況）障がい者の就労者数は、基準値(140人)と比較して、133人増加しました。</p> <p>（要因）利用者の障がいの特性をしっかりと理解し、それに応じた支援をしたことが就労に結びついたと考えます。</p>					対前年度

基本事業03 障がい者（児）の社会参加

指標	障がい者（児）の就労割合（就労支援センター登録者のうち）（%） 【障がい福祉課】	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
				47.1	53.4	50.3
評価	<p>（状況）障がい者の就労割合は、基準値(47.1%)と比較して、3.2ポイント向上しました。実績率が前年度より下がった理由としては、登録者が43人増えたことによるものです。</p> <p>（要因）利用者の障がいの特性をしっかりと理解し、それに応じた支援をしたことが就労に結びついたと考えます。</p>					対前年度

基本事業04 市民啓発の充実

指標	啓発活動の回数（回） 【障がい福祉課】	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
				26	42	43
評価	<p>（状況）啓発活動の回数は、基準値（26回）と比較して17回増加しています。</p> <p>（要因）令和2年度は、障がい者計画・障がい福祉計画・障害児福祉計画の策定に際してのパブリックコメント等を実施したことが挙げられます。</p>					対前年度